

四神一刀流居合道 理念

古来より伝承される古武道である居合道は、先人の多大な努力によつて、その業（わざ）のみならず、私たち日本人にとつて大切な大和魂も共に、今日に至るまで受け継がれてきました。

しかしながら、昨今の世情を見ますと残念なことに、「自分さえ良ければよい」と言った、信じ難い事件や事故が起こるなど、憂慮する事態を散見します。

現代の社会において日本刀が使用されることはなくなりましたが、居合道の極致は、「鞘の内の理念のもと、刀を抜かずして天地万物に和するにある」とされ、これは、現代においても通ずる「日本人として決して忘れてはならない武士道精神」であると言えます。

故に「相手の気持ちに立つて考える」ことは非常に重要です。当会では、この精神を尊重し、日常において大切とする「礼儀」や「感謝の心」を養うことを第一義としています。

また居合道を通じて、地域交流や国際交流を図りながら、明るく楽しい社会づくりに参画することを目指して参ります。

これこそが、現代の日本に求められる「誠の剣客の姿」であると確信しております。

四神一刀流居合道 白桜会

訓

何よりもまず心身ともに健康であること。
先人を尊び、家族や仲間を大切にすること。
如何なる時も礼儀と感謝の心は忘れないこと。
刃は己の心に向け、自戒の心を忘れないこと。
万事より学び、考え、実践し、そして反省すること。
仁徳を以て和平を成し、義を以て人に尽くすこと。
学びた剣を以て未来を切り拓かんとする心意気を持つこと。